

# 令和 8 年度 宮崎県高等学校総合体育大会

## トラックレース テクニカルガイド

### 1 開会式・閉会式

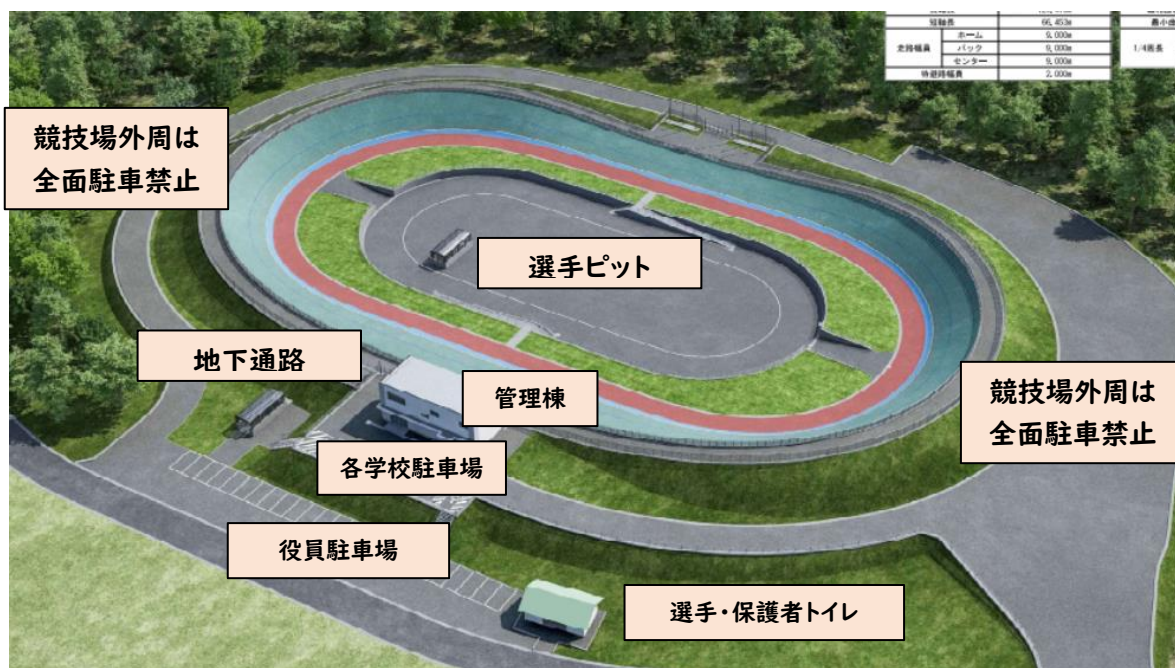
(1) 開会式、閉会式はトラック・ロードで実施する。

### 2 表彰式

- (1) トラック競技各日終了後、3 位まで入賞した選手を表彰対象としインフィールドで行う。  
 (2) 団体種目は代表者 1 名とする。

### 3 トラック会場

- (1) 競技場管理棟前駐車場には各校 1 台のみ駐車を許可する。  
 (2) 役員の駐車場は管理棟前および管理棟前の階段下の駐車場を利用すること。  
 (3) 荷物等を積み下ろす関係で競技場前に車を駐車させた後は速やかに車を移動させること。  
 ※管理棟周辺ならびに競技場周辺の芝生への車での立ち入りは禁止する。  
 (4) 保護者ならびに観戦者は運動公園の駐車場を使用すること（土・日は普通車の駐車料金 3 0 0 円）。  
 競技場周辺は駐車禁止とする。  
 (5) 競技場エリア内・インフィールド内へは役員・選手・来賓以外の立ち入りは禁止する。  
 (6) 選手はインフィールドに入る際、地下通路を使用して出入りする。  
 (7) 競技場管理棟への立ち入りは禁止する。  
 (8) 選手・保護者のトイレは競技場前（役員駐車場横）を利用すること。  
 (9) インフィールド内に各学校ピットを設営する。  
 (10) ごみは各自持ち帰ること。  
 (11) 保護者観覧エリアは管理棟周辺の立入禁止エリア以外とする。



## トラック競技 大会特別規則

### (1) 全体を通して

※今大会は(公財)日本自転車競技連盟競技規則(最新版)及び全国選抜大会特別規則に則り競技を実施する。

- ①エアロヘルメットの使用はタイムトライアル・団体種目のみ許可する。
- ②タイムトライアル種目はHB両者の自転車がセット完了後、カウントダウン(15秒)を開始する。
- ③レース系種目において走行選手が8名より少なくなる場合はDNFではなく-1LAPで処理をする。ただし、競技進行の妨げ、危険と審判長が判断した場合は競技から除外する
- ④1年生の学校ユニフォームが間に合わない場合は別の練習着の着用を認める。受付・招集時に申告すること。
- ⑤受付・招集を行い、検車を実施する。※重量6.8kg以上 出走15分前までに行うこと。
- ⑥競争種目における競技中のハンドルの持ち替えは単独で走行している場合のみ許容する。
- ⑦競技中に使用する靴下、オーバーシューズは、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。
- ⑧競技規則を熟読し遵守する事。罰則への抵触・違反により、注意・警告・降格・失格を適用する。  
注意2回→警告1回 警告または降格3回→失格 同一種目競技にて警告2回→失格
- ⑨TT、IP、TPでのDHハンドルの使用を認める。ステアリング・システムの延長部(いわゆるDHハンドル)の先端がBB軸中心を通る垂線より75cm以内となる。ただし、ハンドルバーエクステンションの前方への拡大可能な範囲および、前腕サポートからの上下の高さは、競技者の身長により下記の3つのパターンに分かれる。  
※前方距離の基本の制限750mmは変わらない。

カテゴリ	身長	エクステンションの前方距離	前腕サポートからの高さ
カテゴリ1	180cm未満	最大800mmまで	±100mm以内
カテゴリ2	180cm~189.9cm	最大830mmまで	±120mm以内
カテゴリ3	190cm以上	最大850mmまで	±140mm以内

### (2) 1kmタイムトライアル

333mのトラックを3周で行う。スタートはホーム、バックストレッチの中央線から2選手同時発送で行う。フライング・事故等があった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。2回目は失格とする。

### (3) インディヴィデュアル・パーシュート(男女3km)

333mのトラックを9周で行う。スタートはホーム、バックストレッチの中央線から2選手同時発送で行う。フライング・事故等の際は両者とも競技を中止し、直ちに両者再発送とし、同一競技者による2回目のフライング・事故は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

### (4) スプリント

予選200m フライング・タイムトライアルは電子計時とする。※状況により手動計時になる場合もある。  
予選200m フライング・タイムトライアルは2周半を走行するうちの最後の200mを計測する。

スタートはバックストレッチ側ブルーバンドより、前競技者が1周回通過後に次走選手がスタートする。

男子は予選上位8名による1/4決勝からトーナメントを開始する。

予選→1/4決勝(1回戦)→1/2決勝(1回戦)→3-4位決定戦/決勝/から3回戦とする。ただし、5-8位決定戦は1回戦のみとする。女子は予選上位2名による決勝のみとする。

#### (5) チーム・パーシュート

スタートはホーム中央線から単独チームの発送で行う。ホルダーは各チームで対応（不足時は競技役員で対応）。フライング・事故等があった際は直ちに再発送とし2回目は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

#### (6) チームスプリント

スタートはホーム中央線から単独チームの発送で行う。ホルダーは各チームで対応（不足時は競技役員で対応）。フライング・事故等があった際は直ちに再発送とし2回目は失格とする。予選上位による決勝戦は実施せず、記録をソートし順位を決定する。

#### (7) ポイント・レース

男子：決勝20km（60周回）、女子：決勝10km（30周回）にて行う。

中間スプリント5周回毎1位・5点2位・3点3位・2点4位・1点

最終スプリント倍点1位・10点2位・6点3位・4点4位・2点

女子中間スプリント5回、男子中間スプリント11回。

主集団に追いついた選手 +20点 主集団より1周回遅れた選手 -20点

周回遅れで競争に支障があるとコミセールが判断した場合（入賞の可能性がない等含む）はレースから除外する。偶数番号はスプリンターレーン（1番選手は先頭に並ぶ）、奇数番号は外柵にそって一列に先着順に並ぶ。

ホルダーは各チームからの対応とする。不足する際は競技役員が行う。1週の猶予周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。ニュートラリゼーションは4周回（1250mに近い距離）とする。ニュートラリゼーションの復帰が最後の1km以内（残り3周回）となり競技に戻れない時は、事故前に累積したポイントおよび周回

に基づき最終決定する。

## (8) 4 km 速度競走

予選→各組上位 5 名が決勝戦。

スタート位置は抽選にて決定する。周回先頭責任は、ホームおよびバック・ストレッチを先頭で通過することにより完了する。最終回の決勝線は、先頭責任数に加えない。順位の設定は、与えられた先頭責任を完了した競技者のフィニッシュ着順による。1 周回追い抜かれた競技者は、先頭責任完了者でも競走から除外する。ただし、当該競走成立に著しい支障を来す場合においてはこの限りでない。周回先頭責任回数は下の表の通りとする。

出走人員	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	*
周長 333.33	12	8	6	5	4	4	3	3	3	3	2	2	2	23
400.	10	7	5	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	19
500.	8	6	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	15

\* は総先頭責任回数

## (9) ケイリン

【男子】 1 回戦→順位決定戦（各組上位 3 名が 1～6 位決定戦、各組 4～6 位が 7～12 位決定戦）

【女子】 決勝のみとする。

333m のトラック 5 周回で実施する。スタートにおいて競技者はペーサーの直後で、抽選によって決定された位置を取ることにし、少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。速やかに追走しない場合は、その競技者を除外し再スタートする。ペーサーはスプリンターラインの内側を走り、スタート時は男 30 km/h ・女子 25 km/h フィニッシュ前約 750m（残り 2.5 周回）の中央線を過ぎてトラックを離れるまでに男子 50 km/h ・女子 45 km/h まで加速する。一人または、複数の競技者がペーサーの中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追抜いた場合、競技を中止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。スタート後、半周以内の事故が発生したときは、再スタートするが半周以後の事故は再レースにならない。ペーサーの後方に位置する間に、1 または数名の競技者が違反または反スポーツ的行動をした場合は競技を停止する。競技は失格とされる違反競技者を除外して再スタートする。ホルダーはチームスタッフが行う。不足する際は競技役員が行う。ペーサーの離脱は最終スプリントの状況であるので、各競技者はフィニッシュラインまで各自の走行ラインを保持しなくてはならない。

## (10) スクラッチレース

男子:決勝:8 km（24 周回） 女子:決勝:6 km（18 周回）で実施する。

主集団に追抜かれた競技者はレースから除外する。

最終順位は、獲得周回を考慮に入れて、最終スプリントにより決定する。

ニュートラリゼーションは 4 周回（1250m に近い距離）とする。

ニュートラリゼーションの復帰が最後の 1 km 以内となり競技に戻れない時は、事故前に累積したポイントおよび周回に基づき最終決定する。

偶数番号はスプリンターレーン（1 番選手は先頭に並ぶ）、奇数番号は外柵にそって一列に先着順に並ぶ。

ホルダーは各チームからの対応とする。不足する際は競技役員が行う。1 週の猶予周回の後、ピストルの合図で正式スタートとする。

### (11) 大会アナウンス (コミュニケの配布・配信)

大会進行はアナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、宮崎県自転車競技連盟公式 SNS で配信する。なお、大会終了後に宮崎県自転車競技連盟 HP でも配信をする。

